

朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）

米国下院、「北朝鮮人権法」を全会一致で可決（7/22）

7月22日、米国下院は「North Korean Human Rights Act of 2004」（北朝鮮人権法）を全会一致で可決した。この法律は、4つの主要部分から構成されている。第1に米国議会が北朝鮮に対して調査して認定した内容を法的に確定する内容である。25の項目があり、北朝鮮が日本や韓国の市民を拉致している、という内容が25番目に入っている。第2に米国政府の北朝鮮に対する二国間、多国間交渉を行う際に人権問題を主要な課題とすることを義務付けている。第3に北朝鮮の人権や民主主義、法の支配、市場経済の発展を支援するための教育・交流プログラムに4年間、毎年200万ドルの支出を認めている。第4に北朝鮮に対する宣伝放送を1日12時間に増やすよう求めている。第5に北朝鮮国内で多様な情報が得られるようにするために、ラジオを提供するなどの事業に4年間、毎年200万ドルの支出を認めている。第6に米国が北朝鮮の人権状況を改善する重要な地位を占めることが米国議会の意図するところであることを明確にし、国連人権委員会等の決議を評価している。第7に米国国際開発庁（USAID）および国務省に対して、人道援助についての状況報告を義務づけている。第8に人道援助の方法に透明性の拡大などを求めるとともに、北朝鮮の人権状況が改善されるまで、人道支援以外の経済援助を禁止している。

この法案が実行されると、米国政府はかなり長い間北朝鮮に対して経済援助を行えないし、北朝鮮に対する人権改善要求を行うことが米国の政府機関の義務となる。核問題の解決後も北朝鮮をめぐる経済協力は、どうやら日本と中国、韓国が担うことになりそうである。

南北鉄道・道路連結の現状（8/28現在）

韓国統一部が8月31日に発表した『南北関係推進現況』によると、南北鉄道・道路連結は8月28日現在、下表の通りである。鉄道の試験運転可能区間は京義線が都羅山駅～板門駅間、東海線が統一展望台駅～鑑湖駅間である。

区 分		南 側	北 側
京 義 線	鉄 道	2002/12/31完了	本線軌道敷設完了
	道 路	2003/10/31完了	舗装工事進行中
東 海 線	鉄 道	軌道敷設工事（36%）	本線軌道敷設完了
	道 路	舗装工事（75%）	舗装工事進行中

南北関係の沈滞

7月に入って、南北関係がぎくしゃくしている。7月13日～15日に予定されていた海運協力実務接触、7月19日に予定されていた軍実務代表会談、8月3日～6日に予定

されていた第15回南北閣僚級会談がいずれも延期となった。韓国統一部が8月31日に発表した『南北関係推進現況』によると、この沈滞は、7月の金日成十周年に対する韓国側の弔問団の派遣問題、脱北者の韓国への移送問題、米国下院の「北朝鮮人権法」通過問題等によって発生した一時的な小康局面である、としている。今年に入って南北政府間の接触が増え、平均すると1週間に1回以上何らかの会談を行っていたので、担当官はほっとしているのではないだろうか。

閣僚級会談でも、南北経済協力推進委員会でも合意された事項の履行がなかなか進まず、同じ内容の繰り返しになっていたにもかかわらず、会談に忙殺されていたのも事実なので、この機会に南北双方に政策を見直し、優先度を決定する作業が必要なのであろう。

韓国政府の北朝鮮に対する支援の状況

今年の韓国政府の対北朝鮮支援は、肥料20万トン、コメが借形式で40万トン（うち10万トンは韓国産）、WHOを通じたマラリア防除事業に対する70万ドル相当の薬品・医療装備、UNICEFを通じた子供の栄養改善事業100万ドル等である。この他に、龍川駅爆発事故に対する支援として、645億ウォン（約64.5億円）が北朝鮮に贈られた（そのうち362億ウォンが、政府と韓国赤十字社によるもので、残りの283億ウォンは民間）。

肥料支援はすべて終了し、コメ支援も陸送分10万トンのうち、8月末現在で44,000トンの輸送が完了している。

アテネオリンピック南北共同入場（8/13～29・アテネ）

第28回オリンピック大会の開会式と閉会式で、南北朝鮮の選手団の共同入場が行われた。これは2004年1月、大韓オリンピック委員会が朝鮮オリンピック委員会に対して共同入場の提案をしたことから始まり、2月に共同入場と2008年の北京オリンピックでの南北単一チーム結成問題を話し合うことについて同意した。

国際オリンピック委員会（IOC）は、8月13日ジャック・ロゲ会長が南北オリンピック委員会の委員長との朝食会の席上、IOCとしても公式に単一チーム結成のために協力することを明らかにしている。

（ERINA調査研究部研究員 三村光弘）